

- 2017年1月1日から2019年3月31日まで岡山大学病院 薬剤部 において実務実習を行った薬学実務実習生の方へ -

「症例体験リストを活用した薬学実務実習における薬局・病院連携体制の構築」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究科長 那須 保友
岡山大学病院
病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院薬剤部 教授 千堂 年昭

1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

平成25年に薬学実務実習に関するガイドラインが示され、平成31年度の薬学実務実習より実習生が学ぶべき疾患として「がん，高血圧症，糖尿病，心疾患，脳血管障害，精神神経疾患，免疫・アレルギー疾患，感染症」の8疾患が提示されました。しかし，多くの病院や保険薬局単独で実施するのは困難であり，薬局と病院の連携体制が必要です。そこで，薬学生が体験した症例体験リストを活用して薬局・病院でどの程度代表的8疾患の学習が実施出来ていたかを明らかにします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2017年1月1日から2019年3月31日まで岡山大学病院 薬剤部において実務実習を行った薬学実務実習生の方111名を対象とします。

2) 研究期間

2017年8月25日 ~ 2020年3月31日

3) 研究方法

2017年1月1日～2019年3月31日の間に岡山大学病院薬剤部において実務実習を行った実務実習生を対象に行います。薬学実務実習に関するガイドラインに示された代表的8疾患「がん，高血圧症，糖尿病，心疾患，脳血管障害，精神神経疾患，免疫・アレルギー疾患，感染症」が，薬局実習と病院実習を連携して行うことで実行可能かどうか，薬局実習および当院実習中に作成した症例体験シートの内容を解析することで調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、以下の情報を抽出し使用させていただきます。情報の管理はコード番号等で行い、氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は削除し、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。ただし、必要な場合に個人を識別できるように、原則としてあなたの氏名などの情報とコード番号の対応表を残しています。

実務実習生が記載した症例体験シートから，代表的8疾患の体験状況に関する情報を取得する。

5)情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学病院薬剤部研究資料保管庫内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6)研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。この研究の結果は氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報を分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、実務実習期間が2017/1/1～2017/3/31までの実務実習生の方は、2017/9/30までに、2017/4/1～2018/3/31までの実務実習生の方は2018/4/30までに、2018/4/1～2019/3/31の間に実務実習を行った実務実習生の方は2019/4/30までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も、実習等において不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 薬剤部
電話：086-235-7655（平日：8：15～17：00）
FAX：086-235-7796

薬剤師

久保 和子